

北斗通信

エバーオンワード(限りなき前進)

藤岡市立北中学校校長室通信

平成22年7月9日(金)

NO21(通算83)

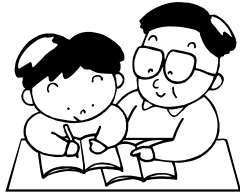


よい子を育てる 親への提言10か条

以前、あるお寺さんを訪問した時、上記の表題の印刷物が目に入りました。

紹介させていただきます。

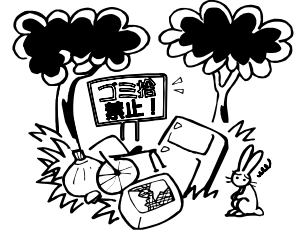
- 一、夫婦は信頼し合い助け合っていこう。
- 二、先祖を敬い親を大切にしよう。
- 三、人間の子どもにダメな子は一人もない。その子なりのよさを伸ばしお互いに長所を認め合おう。
- 四、思いやりの心、感謝の心、譲り合う心、耐える心を育て、積極的に人のため、社会のために役に立つ子に育てよう。
- 五、父は照る、母は涙の露となり、同じ心に育つなでしこ。父の厳しさ、母の優しさの両性でよい子を育てよう。
- 六、親は子どものよきモデルとなり、子どもの姿を通して反省しよう。
- 七、家庭教育は百の言葉より一つの実行。
- 八、子どもの人格を尊重し、子どもの心を理解し、両親の理想を子どもに押しつけないようにしよう。
- 九、物を大切にし、命の大切さを教え、かけがえない尊い命を自覚させよう。



十、親が変われば子どもが変わる。子どもの心が見える親となり、子育ての全ての責任は親にあるという自覚を持つこと。

いかがでしょうか。今までにも子育てに関することをこの通信で紹介してきましたが、共通することが多々あると思います。特に「十」番目のことは、「子どもを変えようとするならば、まずは親が変わらなければ始まらない」ということだと思います。まず親が一つの実行を！ぜひ我が子のために考えてみてください。

今日の道標 みちしるべ 終 標語カレンダーから



- 21日 「もともとゴミと
いうものはない」 役割
を果たしたもので、棄
てる前に、そのいのちをもう一度見つめよう。
- 22日 「運命は出会によって創造される」 決ま
った運命のレールを歩かされてきたのではない。さま
ざまな触 発しよくはつによって今の自分は創られた。
- 23日 「職場こそ人間大学」 いろいろな個性を
持った人が働いている。この生きた総合学習の場で、
日々刻々、学ばなければ、もったいない。
- 24日 「人間が汚したものは、人間が清めなくて
はならない」 環境を守るのは、今生きている私
たちの責務である。自分にできることから行動を始めよう。
- 25日 「挨拶は人を尊重する心の表
現」 明るい挨拶の一声が、すべての
人の心に温かく届く。平和あの扉
を開く、挨拶名人を目指そう。
- 26日 「だめなものはだめだと、はっきり断るの
が愛情」 十分甘えさせることも大切。時には「い
けません」ときっぱりと言う。大人も同じ。妥協が
人をだめにする。
- 27日 「何か一つ、親の喜ぶことを」 どうすれ
ば親が喜んでくれるのか。親心の一端に触れること
で、生きる力がみなぎってくる。
- 28日 「山の中に入り込むと山は見えず」 一つ
のことにのめりこむほど、近視眼になる。そこから
離れた場所に立って、見てみよう。
- 29日 「人生の近道は 滑りやすくて
危ない」 安易な道に足が向く。一
度痛い目に遭うと「急がば回れ」が身に
しみる。
- 30日 「病気と喧嘩しても治らぬ」 苦しみを前
向きに受け止めよう。人を許し、潤いのある心を取り
戻せば、信号は静かに青に変わる。
- 31日 「終わりは次のはじまりである」 使った
道具に感謝して元の位置に戻そう。翌朝はさわやかな
スタートを切ることができる。

